

# 身体的な発達と自己との関わり 7月～9月



すいすいさんになったという自覚も日に日に増し、保育園の中でも一番何でもできる僕たち私たち！という自信もついてきました。その一方で、やはり甘えたい気持ちもまだまだあり、気持ちが崩れやすくなってしまいう姿も多く見られました。下級生との関わりの中で、つい言葉がキツくなってしまいう事もありました。一番上の年長さん、とはいえまだ5歳。いろいろな葛藤や気持ちの揺れ動きも大きいです。

らんらんさんから火が付いた野球ブーム。どんどんと広がっていき、すいすいさんもすっかり野球に夢中になりました。バットを作りボールを打つ、最初は全然当たらなくてもだんだんと上手くなりました。好きな選手が出来て、好きな球団が出来て、ダンス表現遊びのマネキンでは選手のバッティングポーズを作る姿も見られました。好きな事がまた一つ増え、「将来は甲子園に出る！」などと夢を語る姿も！夢や目標が増えると、自信もさらについてきますね。そして、“影響を受ける”ということは、決して上の子からだけという事もなく、下の子から受ける事もある。そういった関りは、異年齢保育のよさの一つだと思います。

納涼会では、すいすいさんが3階のゲームコーナーの立案・計画・製作を担当しました。輪投げとボウリングをやる！と会議で決めて、必要な物をみんなで作ったり、色や絵で彩ったりして作り上げました。自分達で作った！という喜びと達成感、当日に参加するひとりひとりの笑顔がとても輝いていたように思えました。自分達で考え、主体的な活動をこれからも大切にしたいです。

